

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2024年1月10日

事業所名: 夢門塾白楽

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	7	1	0	・適切にスペースが確保されている。
	②	職員の配置は適切である	6	2	0	・適切である。
	③	衛生面の管理が行き届いている	8	0	0	・日々の清掃や設備点検を励行している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返りに、広く職員が参画している)	5	3	0	・さらにPDCAサイクルの取り組みを深めていく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	8	0	0	・保護者様評価表の結果を集計し、事業所内ミーティングで改善点を話し合い実践している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	8	0	0	・ホームページにて公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	2	0	・社内研修だけでなく、事業所内でも不定期で研修を行っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	8	0	0	・毎日の終礼や送り時の聞き取りを行ったり職員との情報交換により計画立案している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	7	1	0	・職員全体の意見を聞いて行っている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	8	0	0	・面談の際に保護者様に要望を伺ったり、利用児童からもリクエストを募ったり、児童の提案を受けた活動内容を行っている。 ・季節の行事や休業日の外出など毎年恒例のものや違うものを用意している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	8	0	0	・個別支援計画に基づいて課題を設定している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	8	0	0	・学習は個別で職員が指導を行い、始まりの会以降は集団療育を行っている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	0	・お迎えの時間が早い時や長期休み中など、業務開始前に打ち合わせの時間を確保できるように努めている。 ・特に外出時の職員とのペア行動配置は適性相性を見て決めている。 ・室内活動の机の配置、動線なども事前に確認している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	・毎回の利用時にサービス提供記録を作成し、いつでも見返せるように保管している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	・毎日の送迎時に保護者様と情報交換し、本人とご家庭での様子の聞き取りを行っている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	1	0	・夢門塾三本柱(運動・学習・生活)が入るよう意識している。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	0	・ご家族のご協力のもと、各学校の予定表をいただいている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	2	2	・保護者の方から情報提供いただいている。 ・就学前の情報は保護者様からの聞き取りにより行っている。資料がある場合はご提出いただいている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4	2	2	・移行した利用者がいない。今後必要時には行っていきたい。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	3	・社内研修を受講している。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	8	0	0	・送迎時に様子をお伝えするほか、コドモンやメールでもお伝えしている。 発達状況や課題については半年に1回の個別面談により個別支援計画書の見直しや改定を行っている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	8	0	0	・ご契約・利用開始時に説明を行っている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	8	0	0	・広く受け付けている(家庭訪問、オンラインも含む)
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	1	7	・教室見学会、参観は開催することができた。 ・保護者会は感染症流行のため開催できなかった。今後行っていく。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	・苦情対応体制は整備している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	8	0	0	・月に1回「ゆめだより」を発行し、日々の活動報告を行っている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	8	0	0	・個人名の書かれた紙を処分する際には必ずシュレッダーを使用している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	・絵カードや読みやすく分かりやすい表示を掲示するなどの工夫を行っている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	8	0	0	・キャンドルナイトやフリーマーケット等、地域ケアプラザや放課後デイと合同のイベントを行っている。管理者を中心に放課後デイ連絡会等と他デイと連携している。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	8	0	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7	1	0	・地震、火災などの避難訓練を全曜日の児童が参加できるように期間を決めて実施している。 ・ヘルメット、アルファ米や飲料水などの備蓄品を常備している。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	・本社主催の虐待防止研修を受講している。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	7	1	0	・実際にそのような場面に遭遇したことがない。 ・身体拘束が必要な利用者がいない。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6	1	1	・投薬が必要な利用者がいない。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	8	0	0	・既定の用紙に記入し、事業所内で共有して再発防止や対応方法などを検討している。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

自己評価、保護者様評価ともに教室が移転したことで前年と比較して活動スペースが広がったことが評価されている。コドモンを丁寧に書く、送迎時にその日のお子様の様子を詳しくお伝えするなど、保護者様との日々の情報共有に注力していることが保護者様からの高い評価に繋がった。改善点としては教室の環境や職員の配置人数などの情報が保護者様に行き届いていないことが挙げられる。お子様の安全を守る取り組みを「ゆめだより」などを活用して伝えていくとともに、職員研修などを積極的に受講してより質の高い支援を追究していきたい。